



●社会福祉法人 光志福祉会

所在地 丸亀市川西町南 258-1

業種 医療、福祉

事業概要 老人福祉施設等の運営及び居宅介護サービス
の提供、企業主導型保育園の運営

従業員数 199 人（男性 43 人、女性 156 人）

育児休業取得期間 H30 年 9 月に 8 日間取得

○制度を知り、利用しようと思ったきっかけ

男性の育休について発想がなかったが、もともと従業員に対し何か出来ないかという思いがあったので、市の講演会で制度の話を聞き、職場で対象者がいないか探した。今回取得した職員は、すでにお子さんが生まれて数ヶ月が経っていたが、職場内調整もでき無事とってもらうことができた。関連会社に、もう 1 人対象者がいたが、こちらも取得してもらうことができた。

男性の育休は、家庭を大切にすることでもあり、後々にわたって家庭に良い影響を及ぼし、夫婦の良い関係性にもつながると思う。

○この奨励金をもっと利用していただくための改善点、気づいた点

奨励金の支給条件で連続 7 日以上 of 休業が必要とあったが、連続 7 日とるのは、正直難しい点もあり、今回の期間がいっぱいだった。そこで、育休を 7 日以上連続というのではなく、1 日単位で合計 7 日以上取得なら OK というものになればいいと思った。一方、職場内で休業前にクリアすべき課題が何々だと確認できたことは収穫だったし、育児休業を取らせてあげようとみんなが前向きに考えて行動したのは良かったと感じている。

○次世代法に基づく一般事業主行動計画を策定されたが、策定してどうだったか

計画をたて実行していくことが大切だと思っており、働き方改革が叫ばれる今、処遇や業務内容を変化させていくため、より良い計画を策定し取り組んでいくべきだと考えている。2020 年に女性管理職 30%と言われているが、女性が多い職場なので逆に男性管理職を増やしていくことを考えている。

○今回、育児休業を取得した社員さんの感想、変化など

〔男性従業員の感想〕

実家が遠方のうえに、仕事が忙しく平日は何もできない状態で、妻には負担をかけてしまっていると感じているところに、「育休取ってみたら」と声をかけてもらい、妻も喜んでくれ、とても良かった。育休中は、子どもをお風呂に入れたり、家事をしたりと、子どもへの距離感がぐっと近くになったと思う。第一子ということもあり、溺愛している。

(裏面につづく)



▲左：育休を勧めた喜井社長

右：育休を取得した浪越さん

事前に準備する期間が短かったこともあり、休んでいる間、職場が気になり見に行ったこともある。しかし、業務について全員が深く考えることにつながり、これは任せて大丈夫、これは他に手立てをしておく必要があったと職場の再確認になった。育休をとるためにみんなが冷静に対応してくれてありがたかった。

○同業他社または顧客へ育児休業取得について話をされたことはあるか

同業種での全国会合があり、その勉強会の席で今回の育休取得について事例報告をしたが、働き方改革を率先実行している業界ということもあり、出席者の反応が薄かった。男性の育休取得は普通という雰囲気を感じたが、今回、取得してもらって本当に良かったと思っている。

○男性従業員が育児休業取得について、言い出しやすいよう工夫したことはあるか

今後、有休5日以上取得することが義務化されるが、育休についても、現場職員でも当然取得できるという雰囲気になるよう、社員教育を進めていく。家庭を大切にすることが、後々の夫婦、家庭に良い影響になることは間違いない。準備期間を十分にとることで現場対応もスムーズになると思うので、今回の事例を糧にしたい。

○ワーク・ライフ・バランスの必要性についてどう思うか

育休の話になるが、子育てが初めてとか、相談する人がいない場合、妻はとても不安だと思う。男性が育休をとることで、妻が育児から少しの時間でも離れることができれば、リフレッシュにつながり、家庭のバランスにも好影響が出ると思う。

○ワーク・ライフ・バランス推進、働きやすい職場環境づくりのために行政からどのような支援があったらいいと思うか

いろいろな制度があると思うが、制度を知らないということもある。制度周知を十分にしてもらいたい。〔男性従業員〕

ワーク・ライフ・バランスへの考え方は世代によって異なると思う。制度設計において対象を一律に設定せず、20代、30代、40代向けなどの支援策を設計するなど、選択の幅を持たせ申請できるようにしてもらえれば、使いやすい支援制度ができると思う。〔企業代表者〕

(取材を終えての感想)

お二人の写真撮影時、壁には会社経営にあたって社長さんが心がけている言葉がたくさん貼ってありました。有言実行、社会や組織のためになることには貪欲に取り組む姿勢が、組織風土となって社員にも浸透していることを、今回の育休取得に向け短期間で決断・実行したことで伺えました。トップの理念が組織の血肉となり、従業員の幸せがお客様に還元されるサイクルをいつも考えられている姿勢は見習うべきだと感じました。